

# LPO

レッスン プラス ワン

Sep, 2005

78

ホームページ “LPO” CLUB

URL: <http://www.musenet.co.jp/lpo>

LPO編集室：〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7 楽譜専門部 佛松沢書店内 TEL：03-5970-5917



## バッハインヴェンション 分析と演奏の手引き

小鍛冶邦隆

（分析小鍛冶邦隆／演奏の手引き 中井正子 シヨパン社刊 1470円）  
※『シンフォニア』は9月刊行予定

2声のインヴェンションは、ピアノを学ぶ初心者が必要通過しなければならない課程であると同時に、音楽芸術の究極の到達点でもあります。バッハは、この作品集を3声のシンフォニア集と一組にし、作曲と演奏法の手引きの範例集としてまとめました。

インヴェンションとシンフォニアは、もともとバッハ家の長男ヴィルヘルム・フリーデマン・バッハのためにまとめられたクラヴィーア小曲集中の作品を一部改訂して編みなおしたものです。とりわけ音楽的才能豊かなフリーデマンのためのこの小曲集は、鍵盤楽器の学習の導入的教材であると同時に、インヴェンションとシンフォニアにまとめられた作品に見られるように、当時（バロック時代）のさまざまな音楽様式と演奏法を学ぶという点にも配慮された実用的なものです。

### 難解な音楽理論を避けては通れない

さてインヴェンションでは、とくにバロック時代特有の対位的な器楽曲の作曲法の手引きが意図されています。高度な音楽理論がすぐれた範例としてのインヴェンション15曲の演奏を通じて学べるように構成されているのです。当然ながらインヴェンション各曲での作曲技術と演奏法の学習の目的を理解した指導が求められます。

しかしながら、当時の音楽界における最高水準であったバッハ・サークルを中心に使われてきたと思われる、このような高度な教材を今日の指導者が安易に学習者に与えるのは問題であると言わざるをえません。高度な作曲技術と演奏法をいかに系統的に指導するかという課題の答えは、インヴェンションをバロック時代の音楽理論を前提に分析することから発見するしかありません。

### 本書の特徴

本書は、バロック時代の基本的な音楽技法である対位法の分かりやすい説明から始めて、この技法を用いてバッハがいかに音楽的表現を行ったかを、各インヴェンションごとに説明していきます。バロック特有の音楽表現や演奏法も、多くの場合作曲技法の内に実現されていますので、初心者には分かりにくい時代的な演奏様式を学ぶきっかけにもなるでしょう。またバッハは、インヴェン

ション全15曲を必ずしも順番に学ぶことを意図してはいませんが、各曲の学習目的を理解したうえで、指導者が学習者の必要性にあわせて選択できるように、全曲を構成しているのです。

### 分析の目的とは

従来のインヴェンションの分析書は、得てして分析の結果に充足しがちに見えます。問題は、分析の結果に見られる音楽技法の特徴とそれらを実現する演奏技術を他のインヴェンションと比較して、各曲の明らかな学習目的を理解することなのです。このようにして、全15曲からなるインヴェンションの学習指導の構想が見えてきます。

### インヴェンションを学ぶとは

勿論本書の演奏法の手引きにも見られるように、インヴェンションでは、当然現代のピアノ演奏法に沿った指導が求められてはいるのですが、同時に音楽理論と音楽的表現の基本的理解を、バッハ独自の音楽様式から学ぶという特殊性を理解せずには、今日においてインヴェンションを学ぶという意味はないように思います。現代のピアノ教師の一般的音楽的教養と、演奏技術的知識からインヴェンションを理解するのは、ある意味危険なことであるとも言えます。本書は現代におけるバッハ理解の手引きとして分かりやすい記述と、楽譜上の書き込みによってヴィジュアルに音楽技法の理解が得られるように工夫されています。

### プロフィール



(Photo: P. Gontier)

東京芸術大学作曲科で永富正之、松村慎三に学ぶ。在学中より山田一雄のアシスタントをつとめ、同大学院を経て、パリ国立高等音楽院作曲科ピアノ伴奏科でO. メシアン、ビュイグロ、ロジェ他に、およびウィーン国立音楽大学指揮科でスウィトナーに学ぶ。クセナキス作曲コンクール（パリ）第1位、入野賞、文化庁舞台芸術創作奨励賞、国際現代音楽協会（ISCM）「世界音楽の日々」他に入選。CDに『愛の歌』（フォンテック）他がある。現在、東京芸術大学作曲科講師。



# いま私たちは チエルニーと どうつき合うべきか。

これまでテクニック習得には欠かせない教材とされ、中級から上級へ進むための登龍門として長くその名を轟かせてきた「チエルニー」。しかし一方で、「生徒がやりたがらない」「チエルニーが嫌でピアノをやめてしまった」という声も多く、現代のピアノレッスンで取り入れるには、リスクの大きい教材と言えらるかも知れません。いま私たちが「どうつき合うべきなのでしょう。このほど『21世紀へのチエルニー 訓練と楽しさ』(ショバソ社 1556円)を刊行された、ピアノ教本研究者・山本美芽さんにお話を聞きました！

## チエルニーは「必修」ではない！

ズバリ、この本はどんな本ですか？  
「チエルニーは必修ではないよ」ということを系統的に明らかにした本です。これまでチエルニーが必修教材というのは誰も決めてはいはずなのに、日本のピアノ教育の中でチエルニーは事実上必修の教材でしたし、実際のレッスンにおいても、30番、40番、50番を順番に弾かせる方法が一般的だったと思います。私自身、この方法に疑問を持ちながらも、当時はそれに従うしかなく、その結果ピアノが嫌になってしまった時期があったんですね。でも、音楽ライターのとしてさまざまな方に取材をしていくうちに、チエルニーがすべての国で使われているわけではないことや、全曲をくまなくやるのではなく、獲得したいテクニクに合わせる部分の取り入れるのが一般的だということがわかってきたんです。ただ、これは私が音楽ライターという立場だから知りえたことであって、普通の人は「チエルニーが必要だからやりなさい」と言われながら逆らえないのが現状だと思うんですね。先生方や学習者のみなさんに、このよ

うな取材結果をぜひ伝えたくったんです。なるほど。取材された中で、実際のチエルニーの普及率とはどのようなものでしたか？

取材を始めたばかりの1999年頃に10代から50代の一般の方にアンケートをとったことがあるんです。その時は、90%以上の人が「順番にやった」と答えていました。また「やっていない」という人についても、そのレベルに達する前にやめてしまったというだけで、ある程度以上のレベルに達している人はほぼ全員チエルニーを経験していたんです。また、クラシック・ピアノストの方々も、海外でピアノ教育を受けられた方は別として、小学校、中学校のうちに50番くらいまで終わらせている場合がほとんどでした。一方、今年になって今度までピアニの先生にアンケートをお願いしたところ、生徒に順番に30番、40番、50番を弾かせているケースは全体の10分の1程度だったんです！このとき先生方からは「自分たちはチエルニーをやってきたし、やった方がいいと思う。でも子どもたちがやりたがらないし、現実問題としてもそんなにできない」という意見が多く寄せられました。

◆山本美芽(やまもと・みめ)



ピアノ教本研究者  
音楽・ノンフィク  
ションライター  
東京学芸大学大学  
院にて音楽教育を  
専攻。中学校の音  
楽教師を経て執筆  
活動を開始。音楽  
教育、ピアノ、フ

ュージョンをテーマに、「ショパン」「教育音楽」「ムジカノヴァ」「ジャズライフ」「アドリブ」等の音楽雑誌に寄稿。ピアニスト、ミュージシャン、作曲家、ピアノ教師などにインタビューを多数行方。現在「ムジカノヴァ」にて「楽譜レビュー」「Web LIFE」などの連載を担当。2002年に「りんごは赤じやない正しいブライドの育て方(新潮社)」を刊行、NHK「ETV2003」でも取り上げられ話題となる。2003年には、ピアニスト・中井正子の著書「パリの香り、夢みるピアノ」パリ音楽院と原智恵子に学んで(ショパン社)、2005年には、音楽教育家、呉暁の著書「練習しないで上達する 導入期のピアノ指導(音楽之友社)」の構成を手がけた。日本音楽教育学会会員。  
<http://homepage1.nifty.com/minemiy>

## では、どうつき合うべきか。

10%ですか…… チエルニーを取り巻く状況というのは急速に変わってきているんですね。とはいえず、効果がなければチエルニーがこれほどまでに支持されることはなかったはずで。チエルニーのよさというのとはどんなところにあるのでしょうか？

まず、チエルニー自身もその時代のとてむしろらしいピアノの先生だったので、どこをどういうふう練習したらいいか全然わからない人でも、そのまま弾くだけで古典派の曲に必要なテクニクを網羅できるよ、親切に作られているという点が挙げられると思います。特にチエルニーはベーターヴェンを弾くためのテクニク習得を意識したようで、ピアニストの方々からも

「ベーターヴェンを弾くときに役立った」というお話を多く聞きました。

また、これは私自身が「チエルニーってやっぱり大事かもしれない」と痛感した出来事なんです。あるピアニストのライブを聴きに行つて、「この人、さらに腕を上げたなあ」と驚いたことがあります。その後、機会があつてお話ししたところ、テクニクを強化しようとして決心してチエルニーに取り組まれたそうなんです。しかも、「効果が絶大なんだよね」とおっしゃる。塩谷哲さんといつて、ジャズの世界では今すぐく人気があり、テクニクにも定評がある方なんです。30番を練習されているそうです。必ずメトロノームを使って、1番だったから、まず80の速さでハ長調、次に81のテンポで嬰ハ長調、82で二長調……といふふうテンポをあげながら移調していき、12調を一周するんだそうです。ツアーにもチエルニーとカード型のメトロノームは必ず持参されるとか。つまりは、いかに集中して楽しみながら取り組めるかを工夫しながら使っていくことが大切なのでしょうね。

## やさしい曲で、表示テンポを 目指して音楽的に

では、具体的な使い方について、アドバイスをいただけませんか？

本にもいろいろ書きましたが、やはり音楽的に弾くこと、それから表示テンポを目指すことですね。エッシェンバッハのチエルニー30番、40番のCDを聴くと、表示テンポ並みに速くて、音楽的なんです。こつやつと弾くと、まるでリストに通じるようなプリリアントな魅力が感じられます。実は今、私も表示テンポできれいに弾く練習をしています。30番でもかなり難しくいですが、おそらく30番がインテンポで弾

けたら、シヨパンのエチュードに入れるんじやないでしょうか。こうしたことを考えると、チェルニーは初見で弾けるぐらいのかなり易しめの曲を選ぶ方法があると思います。譜読みでアップアップしている状態では、音楽的に弾くのは無理ですから。そういう意味で、「チェルニー100番」や「チェルニー30番」や、1つの曲が4〜16小節の「125パッセージ練習曲」などはいいい教材となるのではないかと思います。

また、いきなり速く弾くのは無理なので、メトロノームを使って、「百ます計算」のノリで少しずつテンポを上げるのも楽しいと思うんですね。ただ、その際はあくまで自分に厳しく、いい加減に弾かないこと。完璧に弾けて目盛りを上げることに意味があるという意識が大切だと思います。あとは、ひとつの曲を一ヶ月も二ヶ月もやらないこと。飽きたり集中力がなくなるので、この曲には飽きたら思ったら、できていない曲でも違う曲にする。そういう柔軟さも大切だと思います。

海外では、抜粋して使うのが一般的だそうですね。

そうなんです。ただ、練習曲の抜粋というのは、弱点の補強が主な目的なので、生徒さんの得意不得意を見極めたうえで選ぶことが大事だと思います。そこは先生方にとっては少し大変かもしれませんが、その方が生徒さんもやる気が出ると思うので、ぜひやってみてはいかがでしょうか。

## チェルニーに代わる選択肢も

本の中ではチェルニーに代わる教材として、音楽作品をエチュードとして使う方法も提案されています。

そもそもイギリスやアメリカではチェルニーをほとんど使わないで、実際のピアノ作品でテクニックをつける方法が主流です。

し、楽曲の好みというのには人によって本場に違いがあります。チェルニーを強制することは、場合によってはピアノ自体への意欲を奪ってしまうことになりかねません。事実、ジャズピアノリストの小曽根真さんは幼少期にバイエルが嫌でピアノレッスンをやめてしまったそうだし、熊本マリさんも、スペインでモシユコフスキのエチュードに出会ったことで、ピアノへの意欲を取り戻されたそうです。そういうお話を聞くと、チェルニーが合わない人のために、チェルニーに代わる具体的な教材を本の中で絶対対さなくては行けない！と思えました。ピュイグロジエピアノ教本、Miyoshiriピアノ・メソッド、バツハの平均律プレリユード、バルトークのミクロコスモスなどを使ってもいいですし、音楽作品を次から次へと大量に弾いていくことでも、ちゃんとシヨパンは弾けるようになるんですよ。

## 「ピアノを弾く」原点に戻って

読者にメッセージをお願いします。

生徒さんは、そして先生ご自身は「何のためにピアノを弾いているのか」という原点の部分を、今一度考えてみてほしいと思います。将来ピアノでどうなりたいのか、あるいはどうなっていないのか。そのためには何を練習しなければならないのか、チェルニーを弾くかどうか、そういうこととを考えた上で使うのが本当だと思うんですね。基礎だから、大事だから、みんながやっているから、ではなく、ピアノを弾く原点をもう一度考え直していただくことによって、チェルニーをやるにしても、やらないにしても、お互いに納得のいくレッスンができるのではないのでしょうか。(未完)

(構成・文・P.O編集)



あこがれのDVD全集、CD選集がお値打ち価格で登場! 今が手に入れるチャンスです!!

シヨパン国際ピアノ・コンクールの記録

## ワルシャワの覇者

(DVD31枚、解説書1冊) 158,000円(税込)

## ベートーヴェンピアノ曲選集

(CD20+1枚、解説書1冊) 18,000円(税込)

企画・制作  
株式会社 学習研究社  
音楽出版事業部

## ワルシャワの覇者



【2大特典】  
1.DVD「偉大なるピアニスト」  
(パデルフスキ、マガロフ、ベルルミュテルの貴重な演奏映像)  
2.書籍「シヨパン・コンクールの歴史」  
(第1回から第13回までの貴重な写真が多数掲載されたポーランド直輸入の書籍)※ポーランド語

## ベートーヴェンピアノ曲選集



【特典】  
8cm版朗読CD「ベートーヴェン書簡集」  
「不滅の恋人への手紙」  
「ハイリゲンシュタットの手紙」(朗読:江守 徹)

「機会」があればぜひ手に入れたいと思うのがCDやDVDの「全集」モノ。実は今回、その「機会」がやってきました! いずれも以前より半額以下のご提供となっておりますので、ぜひご検討下さいませ!!

★ベートルーヴェン・ピアノ曲選集  
一方こちらは、ベートーヴェンの主要ピアノ作品53曲を、作曲年を追って収録したCD全集。ピアノソナタ32作品はもちろん、「エリーゼのために」ピアノ協奏曲《皇帝》といった名曲が、ブルンデル、グルタ、バックハウス、ヴァイラム・ケツェンなど、ベートーヴェン演奏には欠かせない面々によって演奏されています。また、ディスク19、20では、ベートルーヴェン自身が弾いていたピアノを含む、5種類のオリジナル楽器による演奏も収録。当時のピアノの音を知る上で、も格好のシリーズとなっております。

★シヨパン国際ピアノ・コンクールの記録  
今年度の開催を間近に控え、期待が高まる「シヨパン国際ピアノ・コンクール」。本商品は、このコンクールの軌跡を、実際の映像で辿るといったものです。ポリーやアルグリッチ、中村絢子、内田光子をはじめとする入賞者演奏(第4回〜13回までを収録。部分収録あり)のほか、審査過程での「ドトマ」部分、関係者インタビュー、そしてシヨパンが育ったワルシャワの映像も収録されています。また、解説書(6判・224ページ)には、第1回〜14回までの各エピソード、入賞者、審査員、課題曲、その年の出来事などが記録されています。

いすれも在庫に限りがございますので、お申し込みはお早めに!

# 9月の新刊&おすすめ本

## おすすめの音楽書

recommend!!



### ●文庫 岩城音楽教室 美を味わえる子どもに育てる

音楽教育の本質は「強制」ではない。  
子どもが音楽を自然に好きになるよう  
仕向けることが肝心なのだ。

指揮棒のみならず、ペンでも辣腕をふるうマエストロ・岩城宏之氏による音楽教育論。実はこの本文は、今から30年ほど前に書かれたものですが、「教える」ことの本質を見つめぬいたその内容は、時代を経てもなお色あせないものです。さまざまなヒントとエールが詰まった一冊。(岩城宏之 著/光文社智恵の森文庫 600円 好評発売中!!)

### ●情熱のカデンツァ

9歳でドイツに移住、以来欧州を中心に演奏旅行を重ねるピアニスト・小菅優さんの初エッセイ。楽曲をどのようにイメージし、観客との対話をいかに楽しむか。さまざまなエピソードを交えながら、真摯に綴られています。(小菅 優 著/NHK出版 1470円 9/下)

### ●新版 ドビュッシーとピアノ曲

天才が名演奏家に遺された技法と「こころ」の稀有な記録  
名ピアニスト・マルグリット・ロン夫人による演奏法と解釈。メカニク的な面から内容の解釈にいたるまで詳細に語られています。(室 淳介 訳/音友 2310円 9/中)

## \* 教本・曲集 \*

### ●キャサリン・ロリン ロリン・ピアノ・コース

#### レパートリー2

総合的なピアノテクニックと音楽性を育てるためのメソッド  
シリーズ続刊。「テクニック2」で学ぶ大切なテクニックと、「テクニック1」ですでに学んだことをよりしっかり身につけるための曲を収録。(安田裕子 訳・解説/全音 1260円 9/下)

### ●子どものためのピアノ選曲集 ハーブ・ガーデン

「星のどうぶつたち」などで知られる作曲家・田中カレンさんによる、「ハーブ」をモチーフとした全15曲。子どもにも弾きやすい内容、レベルとなっています。(田中カレン 作曲/カワイ 1680円 9/下)

### ●エッセイ エッセル ピアノ選曲シリーズ プチ連弾〜ジュピター〜

要望の多い曲を、やさしいアレンジで!  
【曲目】ジュピター／闘牛士の歌／G線上のアリア／アルビノーニのアダージョ／他。(西原睦子、花野幸子 編著/共同 1260円 9/下)

### ●デュエット 踊る連弾・歌う連弾

人気女性ピアノ・デュオ「デュエット」による、明るく楽しい連弾曲集。「チューリップ・ボサノヴァ」「マンボNo.5」「リベルタンゴ」他、活動の中で人気が高く、問い合わせの多かった全9曲をセレクト。  
(デュエット 編/音友 1575円 9/中)

### ●全音ピアノ ボンセ・ピアノアルバム【CD付】

メキシコを代表する作曲家・ボンセの、なかなか入手できない貴重な作品を含む全18曲。ロマンあふれる魅力的な世界をお楽しみ下さい。模範演奏CDつき。  
(宮崎幸夫 監修・演奏/全音 3570円 9/下)

### ●ウィーン原典版226/227

#### モーツァルト ピアノ・ソナタ集①② 新訂版

モーツァルト研究の最新成果を反映した、全く新しい版の日本版。第1巻はウィーン移住以前、第2巻はウィーン移住以降の代表的な作品を収録。  
(U.ライジンガー 校訂/Hシヨルツ 運指/R.レヴィン 解説 音友 ①-3675円、②-3990円 9/中)

### ●ピアノの美しい音色と表現のために ペダル・テクニック 応用編

好評既刊「基礎編」の続刊。応用編では、時代様式・作曲家・音型・音域の高低・ハーモニ・アーティキュレーションなどさまざまな角度から、踏むタイミングや踏み込む深さなどを含め、あらゆるテクニックを研究します。  
(堀江真理子 編著/ヤマハ 1785円 9/下)

### ●すぐ弾ける はじめてのやさしい大人のピアノ Vol. 3

見やすく大きな譜面とドレミのふりがなつき。【曲目】Far away(谷村新司)/マツケンサンバII/マイ・ウェイ/愛の讃歌/ラ・カンパネラ/秋桜/乾杯他。(kmp 1575円 9/中)

### ●模範演奏CD付 おとなからはじめる 趣味のピアノ/ジャズ編

大人の初心者の方を対象に、独習用としても使えるテキスト。レッスンCD付。【曲目】いつか王子様が/サテン・ドール/テネシー・ワルツ/アメイジング・グレース/他全10曲。  
(野呂芳文 編/ドレミ 2625円 9/下)

### ●模範演奏CD付 おとなからはじめる 趣味のピアノ/ニューミュージック編

【曲目】花/亜麻色の髪の乙女/夜空ノムコウ/涙そうそう/他全12曲。  
(野呂芳文 編/ドレミ 2625円 9/下)

## \* ヒット曲&TVテーマ曲 \*

### ●月刊Piano 9月号増刊 ピアノで楽しむドラマ&シネマサウンド

「電車男」「いま、会いにゆきます」や、「ANA」「タッチ」など、話題のドラマや映画のナンバーが満載!(ヤマハ 980円 9/中)

### ●月刊Piano 10月号増刊 やさしくひける大人のピアノ

私のベストレパートリー2005  
大人の初級者のためのレパートリー集。ヒット曲からクラシック、スタンダードまでをピアノに。(ヤマハ 980円 9/下)

### ●歌いかけた楽譜が満載! 大人のためのピアノ/専門誌 PIANO STYLE Vol. 10

今回は、ベ・ヨンジュン主演映画「四月の雪」テーマ曲ほか、選りすぐりのナンバーを収録! 【特集1】月の光に誘われて〜印象派への旅 【特集2】ステージで着たいあこがれのドレス(リットー 1050円 9/下)

### ●ピアノ曲集 坂本龍一/05

坂本龍一完全責任監修シリーズの続編。今回は連弾作品も収録。楽曲解説や演奏アドバイス、30,000字超におよぶロングインタビューも必見!(リットー 2625円 9/下)

### ●上級者向けアレンジ! ハート・クラシック・ジャズ・ピアノ スタンダード名曲集 CD付

【曲目】いつか王子様が/A列車で行こう/サマータイム/スターダスト/他11曲予定。  
(納谷嘉彦 編曲・演奏/シンコー 2730円 9/下)

※発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。また、品切の場合は何卒ご容赦下さいませ。

※価格はすべて税込金額での表示となっております。